

小学校 第1学年 算数科 学習指導案

北海道芦別市立芦別小学校
教諭 栗山 崇志

単元名 くらべかた (9時間)

単元のねらい 量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

本時のねらい 長さの意味、比べ方(直接比較)を理解する。(第1時)

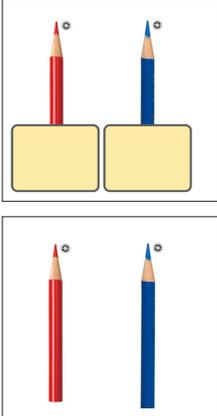
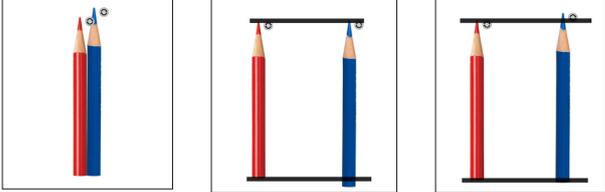
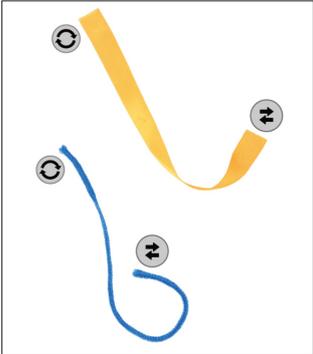
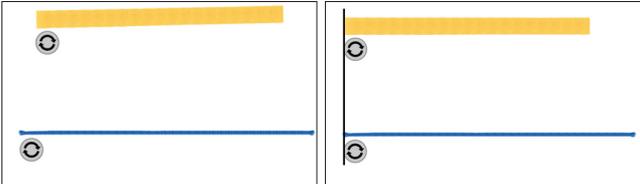
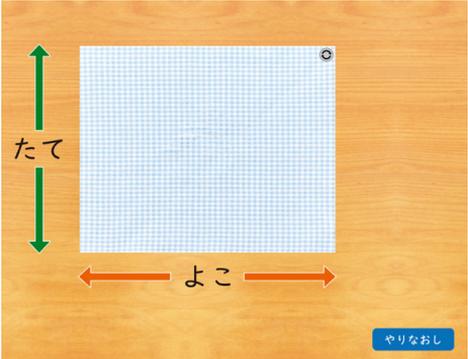
指導時期 12月上旬～中旬

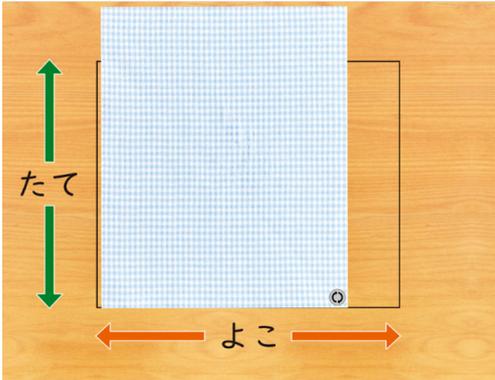
指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

- 本単元では、「どちらが長い」という問いにより、直接比較のアイデアを引き出す。その中で「揃えて比べる」という基本的な考えを押さえつつ、測定する対象によって「並べる」、「まっすぐにする」、「ぴったり重ねる」といった方法に着目させることが必要である。その際、具体的にどのような操作を行えばよいのかを全体指導の場で確認したい。
- テープやひものようなやわらかいものの長さを比較する活動では、「まっすぐにして端を揃える」という操作で、児童を1か所に集めたり、実物投影機を使用したりして行うことが想定される。児童を1か所に集める場合には、児童が立つ位置によって操作の手元が見えないことが起こり得る。実物投影機を使用する場合は、操作をしながら画面を確認することが困難であり、児童自身が操作している姿を全体指導の場で共有することが難しい。(デジタル教材の利用により、これらの問題は解消できる。)

本時(第1時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。 ● ものの長さに関心をもつ。 T：長いものといえどんなものを思い浮かべますか。短いものはどうですか。 C：へび、ひも、廊下…。 C：私がついている鉛筆ではこれがいちばん長いよ。 C：私は短い鉛筆をついているよ。 	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 色鉛筆の長さを直接比較する。 (色鉛筆の長さ比べの写真を示して) T：赤の鉛筆と青の鉛筆ではどちらが長いと思いますか。 C：同じ長さに見える。 C：赤のほうがちょっとだけ長いかな。 C：端が見えないからわからない。 <p>T：どのように比べるといいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> C：隠れているところを見せてほしい。 C：端を揃えて比べると、青のほうが長い。 <p>T：友だちどうして鉛筆の長さ比べをしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 p.136 の 操作 で、鉛筆の長さの比べ方を考える。  <ul style="list-style-type: none"> ● 児童の理解が不十分な場合には色鉛筆の画像を揃えて見せたり、線を引いたりして全体で共有する。 
	<ul style="list-style-type: none"> ● テープやハンカチの長さの比べ方を考える。 T：黄色いテープと青いひもではどちらが長いと思いますか。 T：曲がっているものの長さはどう比べるとよいですか。 C：まっすぐにしたい。 C：まっすぐにしてから端を揃えて比べるといい。 <p>T：ハンカチの縦と横ではどちらが長いと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> C：横のほうが長そうだ。 C：折ってぴったり重ねればはっきりする。 C：ぴったり重ねると端が揃っているから比べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 p.136 の 操作 で、テープとひもの長さの比べ方を考える。   <ul style="list-style-type: none"> ● 教科書 p.136 の 操作 で、ハンカチの縦と横の長さの比べ方を考える。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<p>◎：縦の長さがどこまでか印をつけておいて、それに横の長さを合わせてみるといいよ。(間接比較)</p>	 <p>●本時のねらいは「直接比較」なので無理にこの方法を扱う必要はなく、児童の発言から出た際には「指導者用デジタル教科書(教材)」を利用して確認してもよい。</p> 
まとめ	<p>●学習を振り返り、まとめる。</p> <p>■：長さはどのように比べましたか。</p> <p>◎：端をぴったり揃えて、同じ向きで並べると比べられた。</p> <p>◎：曲がっているときはまっすぐにして端を揃えるとよかった。</p> <p>◎：ハンカチは折ってぴったり揃えた。</p>	

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

- 色鉛筆の長さを比較する場面で、全体指導の際に児童が自席にしながら色鉛筆の比較方法を確認でき、友だちどうしで鉛筆の長さを比べる次の活動にも迅速に移ることができる。また、色鉛筆の端を隠して写真を提示することによって「端を揃える」という課題意識が焦点化できる。
- テープとひもの長さを比べる活動では、児童とともに「指導者用デジタル教科書(教材)」を操作することで、「まっすぐにする」ということが確認しやすい。
- 「指導者用デジタル教科書(教材)」の書き込み機能によって、「端を揃える」とこと「長さを比べる際にどこに着目するか」を視覚的に提示することができるので、児童自身が学習の要点を確認しながら活動に取り組むことができる。